

会社名 株式会社 ピアラ  
代表者名 代表取締役社長 飛鳥 貴雄  
(コード番号：7044 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役 C F O 松田 淳  
(TEL 03-6362-6831)

ピアラグループ、全社横断 AI 活用プロジェクト始動  
社員支援制度を通じ、【「買いたい」は AI でつくれる。】を掲げ、  
2028 年までに広告自動化・業務効率化 200%の実現へ

認知からユーザー獲得、ファン化までフルファネルでダイレクトマーケティングを行う株式会社ピアラ（本社：東京都渋谷区、代表：飛鳥貴雄、以下「当社」）は、生成 AI 活用を全社でさらに加速させるため、グループ横断の AI 活用プロジェクトを始動しました。本プロジェクトでは、各社員が選んだ生成 AI ツールの導入費用を会社が補助し、活用成果を発表・共有する仕組みを新設。これにより、全社的なナレッジ蓄積とグループ全体でのスキル・効率化の平準化を実現します。

さらに、新スローガン【「買いたい」は AI でつくれる。】のもと、マーケティング DX×AI を推進し、2028 年までに広告運用完全自動化と業務効率化 200%の実現を目指します。



当社はこれまで、フルファネル型のダイレクトマーケティング支援を通じて企業の売上成長に貢献してまいりました。今回新たに始動した AI 活用プロジェクトでは、グループ全体で生成 AI を活用し、攻めと守りの両面から事業成長を加速させてまいります。

## ■社員支援制度による AI 活用推進

本プロジェクトでは、社員が自ら選んだ生成 AI ツールの導入を会社が支援します。各部署・社員が日常業務に即したツールを導入し、実際にどれだけ効率化できたかを測定。その成果や活用方法を全社で発表・共有する仕組みを設けることで、ナレッジを蓄積し、グループ全体でのスキルと効率化の平準化を実現します。これにより、AI を使いこなす文化を全社員に根付かせるとともに、現場発信の改善をグループ全体へと展開していきます。

## ■攻めのマーケティング DX（売上成長）

AI によるデータ解析を基盤に、最適なクリエイティブや配信を自動で判断・実行。外部パートナーである株式会社ジーニーとの連携により、独自データを活用した AI エージェント効率化を推進します。また「生成 AI×CDP」開発もスケジュール通り進行しており、AI に学習・考察をさせることで、従業員の工数削減や一定レベルの考察を AI が実施できる体制を整備しています。2028 年までに広告運用の完全自動化を実現し、売上・CVR・RoAS の最大化を目指します。

## ■守りのマーケティング DX（収益性向上）

生成 AI を活用し、膨大なルーティン作業やレポート作成を削減。営業業務、バックオフィス業務を含むあらゆる領域で効率化を推進しています。業務効率化 200%を実現し、社員一人あたりの生産性を飛躍的に高めます。社員支援制度によるツール導入・活用の拡張が、全社的な生産性向上をさらに後押しします。

## ■全社横断での実行体制

本社および子会社を含め、すでに各所で活発な POC（概念実証）や事例共有が行われており、具体的な成果も出始めています。自社 AI エージェントの効率化や外部パートナーとの共同検証、各種 AI ツールの活用を組み合わせ、全社横断の AI 文化を着実に定着させています。

### 先行して下期より更にAI注力『ピアラの両利きマーケティング経営』

～ 売上成長（攻め）と高収益化（守り）の同時実現 Road to 2028 ～

#### 攻めのマーケティングDX：効果の最大化

コンセプト：AIによる「全体最適化」  
分断されていたマーケティングを統合し、LTV（顧客生涯価値）を最大化する施策を自動で実行する。

**2028年広告運用自動化を目指す**

**Before（従来の課題）**

- ・ファネルごとの部分最適
- ・経験と勘に頼る属人的な施策

**After（AIによる変革）**

AIによるデータ分析に基づきマーケティングを最適化し、最も成果の期待できるクリエイティブや配信を判断・実行

**→ 売上・CVR・RoASの向上  
事業のトップラインを最大化**

#### 守りのマーケティングDX：利益率の向上

コンセプト：AIによる「業務効率化」  
これまで人手に頼っていた分析・運用業務を自動化し、高付加価値な戦略立案へシフト、組織全体のフローをAIで見直しすることで生産性強化。

**2028年までに業務効率化200%を目指す**  
**ピアラグループ横断で社内のあらゆる生成AI利用に対する補助金支給プロジェクトを発足**

**Before（従来の課題）**

- ・膨大なルーティン作業及びレポート工数
- ・画一的な運用及びノウハウの属人化

**After（AIによる変革）**

AIが日々の運用や分析を代替し、人間はより創造的な業務に集中

**→ 1名あたり生産性向上  
収益性の高い強固な事業基盤を構築**

ピアラは、AIを司令塔とした「自律的に成長し続ける高収益な事業モデル」への変革を目指します

## ■AI 共創の3アプローチ

ピアラグループは、AI 活用を段階的に推進しています。

### 1. ジーニー社との共同プロジェクト（外部連携）

生成 AI×CDP 開発や SFA 活用、広告レポート自動化を通じて、顧客データを基盤とした効率的な広告運用と業務改善を進めています。

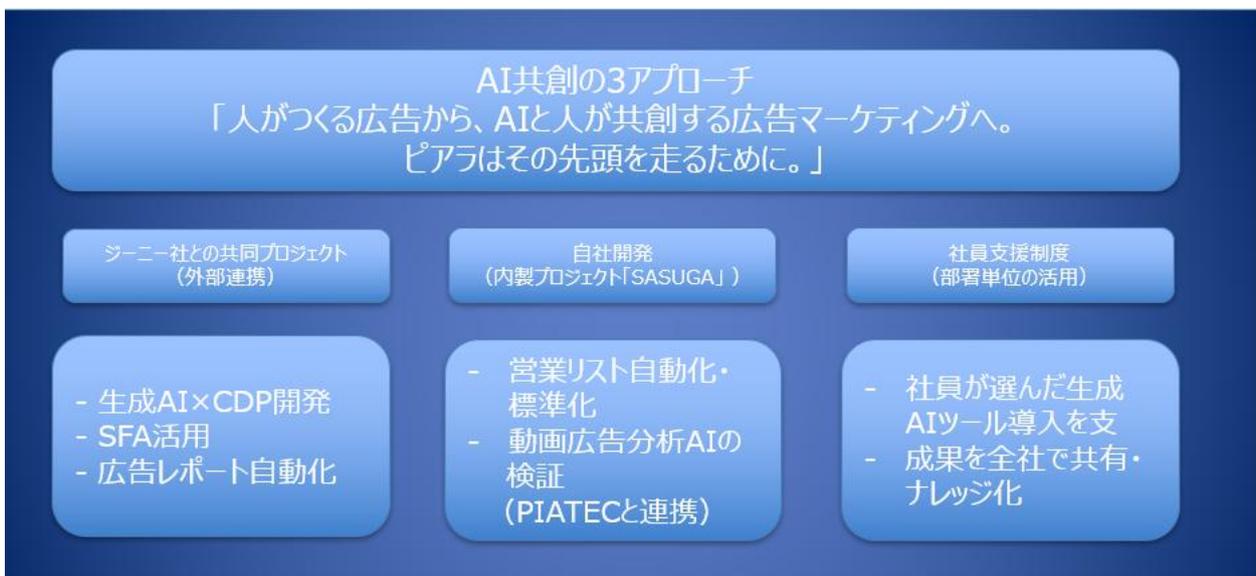
### 2. 自社開発（内製プロジェクト）

当社のインフォメーションテクノロジー本部が中心となり、独自の AI エージェントを開発。代表例が「SASUGA」プロジェクトで、営業リスト作成を AI で自動化・標準化し、作業効率と品質を均一化しています。また、子会社である PIATEC (Thailand) Co.,Ltd. と連携し動画広告分析 AI の検証も進めています。

### 3. 社員支援制度（部署単位の活用）

社員が選んだ生成 AI ツールの導入を会社が支援し、その成果を全社で共有。現場発の活用をナレッジとして広げ、全社的な効率化につなげてまいります。

「人がつくる広告から、AI と人が共創する広告マーケティングへ。ピアラはその先頭を走るために。」このメッセージを掲げ、外部連携・自社開発・社員支援の3つのアプローチを組み合わせ、AI と人が共創する新しい広告マーケティングの実現に挑戦してまいります。



## ■今後の展望

当社は、新スローガン【「買いたい」はAI でつくれる。】を中期的な指針として掲げています。広告や業務効率化にとどまらず、顧客体験の最大化を実現する新しいマーケティングモデルを確立し、AI を司令塔とした「自律的に成長し続ける高収益な事業モデル」への進化を推進することで、企業の持続的成長にコミットしてまいります。

**【株式会社ピアラ 会社概要】**

商 号 : 株式会社ピアラ

代 表 者 : 代表取締役社長 飛鳥 貴雄

所 在 地 : 〒150-6013 東京都渋谷区恵比寿 4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー13階

設 立 : 2004年3月

事 業 内 容 : 1. ECマーケティングテック事業 2. 広告マーケティング事業

資 本 金 : 50百万円 (2025年6月末)

証 券 コー ド : 東京証券取引所スタンダード市場(証券コード: 7044)

関 連 会 社 : 比智(杭州)商貿有限公司、PIATEC (Thailand) Co., Ltd.、  
CHANNEL J (THAILAND) Co., Ltd.、PG-Trading (Vietnam) Co., Ltd.  
株式会社ピアラベンチャーズ、株式会社P2C、one move株式会社  
株式会社ジョシュアツリー、株式会社サイバースター

U R L : <https://www.piala.co.jp/>

本リリースに関するお問合せ 株式会社ピアラ 広報室: 本山  
e-mail: [press@piala.co.jp](mailto:press@piala.co.jp) / TEL: 03-6362-6833